

喜多方市立小中学校適正規模適正配置
地域説明会結果報告書

地域説明会

1 目的

本市小中学校の適正規模適正配置を進めるにあたり、趣旨や喜多方市の現状と今後の児童生徒数の見通し、少子化が学校教育に及ぼす課題等を地域住民や保護者に説明するため地域説明会を開催した。

2 期間

平成29年9月25日(月)～10月6日(金)まで(全7回開催)

3 実施方法

地域説明会は、中学校区ごとの地域住民や保護者を対象に、全7中学校区で実施することとした。実施にあたり、小中学校、こども園等を通して文書にて案内するとともに、案内文書の全戸回覧、市ホームページへの掲載等により、地域住民に対し参加を呼びかけた。

4 日程及び会場等

日時	会場	対象学区
9月25日(月) 19:00～	高郷小学校体育館	高郷中学校区(2校)
9月28日(木) 19:00～	関柴小学校体育館	第三中学校区(4校)
10月2日(月) 19:00～	会北中学校体育館	会北中学校区(3校)
10月3日(火) 19:00～	第二小学校会議室	第一中学校区(4校)
10月4日(水) 19:00～	山都中学校多目的ホール	山都中学校区(2校)
10月5日(木) 19:00～	塩川中学校プレイホール	塩川中学校区(5校)
10月6日(金) 19:00～	第一小学校会議室	第二中学校区(4校)

5 出席した教育委員会事務局職員

教育長	芳賀忠夫
教育部長	江花一治
教育総務課長	佐藤健志
学校教育課長	山口浩
教育総務課主幹兼管理主事	坂口伸(学校教育課主幹兼務)
学校教育課主幹・指導主事	金成和彦
学校教育課主幹・指導主事	五十嵐博也
学校教育課長補佐・指導主事	中村豊子
学校教育課長補佐	瓜生昭彦

6 参加者（保護者、地域住民等）

（単位：人）

区分	参加者数	内訳		
		児童生徒の保護者 及び地域住民	教職員	その他
高郷中学校区	47	30	16	1
第三中学校区	17	16	1	0
会北中学校区	40	26	13	1
第一中学校区	25	15	10	0
山都中学校区	22	16	6	0
塩川中学校区	39	29	8	2
第二中学校区	22	13	7	2
合計	212	145	61	6

7 説明内容

別紙の資料に基づき説明

8 総括

地域説明会では、適正規模適正配置を進めるにあたり、趣旨や今後の課題等について資料をもとに説明を行った後に、地域住民や保護者から意見が出された。総括すると、「(1)現状維持」「(2)何らかの対策が必要」「(3)市の取組への要望」「(4)その他」に大別することができた。

それぞれの代表的な意見を整理すると、次のとおりである。

(1) 現状維持

- ① 小学校は地域のコミュニティの中心である。今のまま学校を存続してほしい。
- ② 将来、統合になった場合、スクールバス等で子どもが他地域へ通うことになれば、いずれ地域を離れる若い夫婦が今後多くなると思う。
- ③ 過去に学校が統合となった経験がある。地域では、学校が無くなった場合、相当の悲しみがある。学校が無くなるのは非常に大きなことである。
- ④ 学校が地域からなくなれば過疎化が進むと思う。

(2) 何らかの対策が必要

- ① 統合後の通学手段（スクールバスなど）の検討をぜひしてほしい。
- ② 自分の子どものことを考えると、児童生徒数が少なくなる現状は不安になる。統合に賛成する。
- ③ あまりにも少ない人数で小学校で過ごした後に中学校に進学した場合、大人数の学校だとすると、その状況に馴染めない子どもも出てくるのではないかと思う。小学校だけだと良いかもしれないが、中学校のことを考えると事前に大人数に慣れておくことも必要だと思う。

(3) 市の取組みへの要望

- ① 適正規模適正配置よりも児童生徒がこれ以上減らない施策が必要である。
- ② 地域で子どもを生んで地域で子どもを育てるといふ、子供や人を呼ぶ環境づくり、地域の活性化対策が重要だと思う。
- ③ 安心して子育てのできる環境やまちづくりが大切である。
- ④ 教育委員会だけでなく、他課（こども課・福祉課）も一緒に参画し、喜多方の子育ての在り方について市をあげて検討してほしい。
- ⑤ まずは、少子化対策、人口対策が必要だと思う。

(4) その他

- ① 今後も保護者・地域への説明会をぜひ実施してほしい。
- ② 各校のPTAからの要望についての話し合いの場が必要だと思う。
- ③ 今後行われる審議会には、これからの保護者や現在の保護者の考えを多く反映できるようにしてもらいたい。
- ④ 資料を各地域、保護者に配布し、時間をかけて丁寧に進めることを希望する。

9 各地域説明会の概要

第1回地域説明会（高郷中学校区）

- ・日 時 平成29年9月25日（月） 19：00～
- ・場 所 喜多方市立高郷小学校体育館
- ・参加者 47名
- ・主な意見

(1) 現状維持

- ① へき地小規模校だからこそそのよさがある。複式学級ということで、教員が足りないというならば、市として、教員数を増やすなどの要望をしてほしい。
- ② 児童がたった一人の学校もあってよいと思う。市として、過小規模校のままでの存続の話し合いをもってもらいたい。
- ③ 部活動など学区を越え編成できるような話し合いなど考えるとよいのではないかと思う。
- ④ 小学校は地域のコミュニティの中心である。現行の学校を存続し、複式学級のところには、

教員を増やすなどの措置をしてほしい。

(2) 何らかの対策が必要

- ① 統合になった場合、遠距離通学が心配である。通学手段について乗合バスかスクールバスかという点もしっかり配慮してほしい。
- ② 統合後のスクールバスや路線バスの活用等の話し合いが必要だと思う。

(3) 要望、その他

- ① 山都地区も高郷地区も3つの小学校が過去に統合している。その結果、地域にとって、良かった点・悪かった点は何だったとの説明が必要だと思う。
- ② 将来的に、中学校でも複式学級ということになってしまうのか教えてほしい。
- ③ 今回の説明会の結果の共有化が必要だと思う。
- ④ 30年度、31年度も保護者・地域への説明会が必要だと思う。
- ⑤ 最終的には何年度に施行する予定か説明をしてほしい。
- ⑥ PTAからの要望等についての話し合いの場が必要だと思う。
- ⑦ 国・県が示す適正規模適正配置の基準（のぞましい子どもの数など）を示してほしい。
- ⑧ 資料にある「今後のスケジュール」については、地域の意見を聞くなど丁寧な進め方を希望する。

第2回地域説明会（第三中学校区）

- ・ 日 時 平成29年9月28日（木） 19：00～
- ・ 場 所 喜多方市立関柴小学校体育館
- ・ 参加者 17名
- ・ 主な意見

(1) 現状維持

- ① 熊倉小の存続のスタイルとして、どのような形でできるか検討が必要だと思う。
- ② 熊倉地区は、雄国分校統合、熊倉中学校の第三中への統合の経緯がある。その時の思いがよぎり辛い思いである。住民が納得した中で進めてほしい。
- ③ 「統廃合ありきではない」ということだが、資料9ページ（様々な学校スタイル）を見ると、

統廃合ありきと感じる。統廃合よりも児童生徒がこれ以上減らない施策が必要だと思う。

- ④ 熊倉地区区長会を代表して「意見書」を提出する。統廃合のない方法の検討が必要である。
- ⑤ 地域で子どもを産んで、地域で子どもを育てるといふ、この地に子どもや人を呼ぶ環境づくりが大切と考える。まずは地域の活性化が最重要だと思う。

(2) 何らかの対策が必要

- ① 地区内の子ども的人数が年々減少している。統廃合になった場合、通学手段はどうなるのか、また、スクールバス等の支援があるか知りたい。

(3) 要望、その他

- ① 各地区から意見が出てくると思うが、最終的には地域住民の意見をしっかり受け止めてほしい。市民への説明会も多く開催すべきである。
- ② 資料にある「小規模特認校」の内容を知りたい。

第3回地域説明会（会北中学校区）

- ・ 日 時 平成29年10月2日（月） 19：00～
- ・ 場 所 喜多方市立会北中学校体育館
- ・ 参加者 40名
- ・ 主な意見

(1) 現状維持

- ① 資料にはないが、統合しないメリットとして、徒歩で通学ができる。体力や気力が育成されていくということがあげられる。
- ② 生徒が、部活動のために他の中学校（第二中学校や第三中学校）へ行ってしまうことになれば、この地区から中学生がどんどん減ってしまう。若い夫婦も出て行ってしまう恐れがある。
- ③ 小学校入学時に、大きな学校へ入学させるために町を離れる保護者が今後多くなると思う。
- ④ 学校の大きさに関係なく、教育は平等に学べると思う。しかし、地域から学校が無くなると、地域から学ぶことができなくなる。デメリットを考えるより小さな学校のメリットを最大限に広げるなど地域での学校の存続を望む。

- ⑤ 自分の地域から学校が無くなるのは寂しい。市として、どうやって子どもを増やすかなど、安心して子育てのできる環境や街づくりをしていくことが大切である。

(2) 要望、その他

- ① スケジュール案に適正規模適正配置審議会なるものがあるが、これからの保護者や現在の保護者等たくさん入った組織となるよう希望する。
- ② 保護者の意見を多く反映できる機会が必要である。
- ③ 新しい学校をスタートさせるためには、何年後からというスケジュールを示す必要がある。
- ④ 上三宮小には特別支援学級がないため、上の子を加納小学校（特別支援学級）に通わせている。過小規模校にも特別支援学級の設置を検討してほしい。

第4回地域説明会（第一中学校区）

- ・ 日 時 平成29年10月3日（火） 19：00～
- ・ 場 所 喜多方市立第二小学校会議室
- ・ 参加者 25名
- ・ 主な意見

(1) 何らかの対策が必要

- ① 現在、自分の子どもは関柴地区からの通学のため、1時間程度かかって通学している。学校が統合した場合、歩く距離なども充分検討してほしい。

(2) 要望、その他

- ① 市の施策として、子どもを増やす手立てを講じてほしい。
- ② 小中学校の統廃合も大切かも知れないが、待機児童について対策を行うべきである。
- ③ これからの子どもたちを育てるという視点で、こども課、福祉部門の課なども一緒に参画して喜多方の子育てについて説明すべきである。
- ④ 学校の施設・設備が古すぎる。子育てや教育にお金を使うべきである。
- ⑤ 説明会資料については、子どもがいない世帯にも見ていただくために、回覧板で回すのが良い。経費削減になる。
- ⑥ 平成31年度予定の「原案説明会」「適正配置審議会のメンバー」について教えてほしい。

- ⑦ 小学校の標準的な通学時間とはどのくらいか知りたい。
- ⑧ このように説明会を企画しても、平日では人の集まりは良くない。学校の保護者会等、保護者が多く集まる場での説明が必要である。
- ⑨ アンケート及び説明会資料を全保護者、各地域に配布し、時間をかけて丁寧に進めることを希望する。
- ⑩ 公民館に勤務しているが、今回の資料を各公民館や支所に置く場合、市民から問い合わせがあった場合の説明を事務局から受けたい。
- ⑪ 複式学級になる場合の法的な根拠を教えてください。
- ⑫ 今回の資料をHPに掲載すべきである。

第5回地域説明会（山都中学校区）

- ・ 日 時 平成29年10月4日（水） 19：00～
- ・ 場 所 喜多方市立山都中学校多目的ホール
- ・ 参加者 22名
- ・ 主な意見

(1) 要望、その他

- ① 検討スケジュールは、旧市内と山間部では全く変わってくると思う。地域性を考慮したものにしてほしい。
- ② 検討スケジュールでは、平成30年度に原案検討とあるが、今後も山都地区において、説明会を開催してほしい。
- ③ これからのことを考えるとこども園の保護者に通知やアンケートを配布してほしい。
- ④ 私たちは過去に、山都小学校・山都中学校の統合を経験している。学校が無くなった地区は相当の悲しみがある。地域に学校が無くなるのは非常に大きなことである。これからの地域づくりなどについても考えながら取り組んで欲しい。
- ⑤ 適正規模適正配置と一緒に、特別な支援が必要な児童生徒のことも含め考えてほしい。

第6回地域説明会（塩川中学校区）

- ・ 日 時 平成29年10月5日（木） 19：00～
- ・ 場 所 喜多方市立塩川中学校プレイホール
- ・ 参加者 39名
- ・ 主な意見

(1) 現状維持

- ① 学校や農協というのは、地域では核になっている。農協の支所やガソリンスタンドもなくなり、さらに学校もなくなれば地域が寂しいものになる。十分に地域の人話を聞いて進めてもらいたい。

(2) 何らかの対策が必要

- ① 小学校の統合には賛成である。子どもが来年姥堂小学校に入学するが、人数が少ないとは分かっていたが、この資料の表の人数を見て、ますます不安になった。子どものことを考えると統合をお願いしたい。
- ② 喜多方市全体として、学区（通学区域）をはらって、好きなところに通学できるようにしてはどうかと思う。
- ③ 来年小学校に入学する娘がいる。この間学校を見学したらあまりにも子供が少なく娘も気後れしている。あまりにも少ない人数で6年間を過ごして、その後4つの小学校が1つの中学校に集まるわけだが、その状況に馴染む子どもと馴染めない子どもがいると思う。うちの子どもは後者だと思うが、小学校だけだと良いかもしれないが、その後の中学校などを考えると不安である。
- ④ 自由学区や学区自体を見直すことも検討すべきである。

(3) 要望、その他

- ① 適正規模適正配置について取り組むようになった背景を知りたい。
- ② この資料にあるメリットとデメリットは、個人によっても、地域によっても捉え方は異なると思う。
- ③ このような機会（説明会）をつくっていただき、ありがたい。教育長が考える教育上の適正規模とはどのくらいのものなのか示すべきである。
- ④ 地域ごとのメリット、デメリットの解消についてしっかりと考えていただきたい。

- ⑤ 来年度も、原案を教育委員会が作る段階で、このような会を設けてもらいたい。
- ⑥ 塩川小学校だけが人数が増えている。将来のことを考えると、校庭の大きさや教室の数、施設の数など十分足りるのか不安がある。
- ⑦ 資料にある人口ビジョンは見通しが非常に甘いと思う。今の人口減少の速さからいくと、これから30年後にたった1000人の減とは考えられない。現実的な対策を打ち出すべきである。
- ⑧ 特に小学校については、我々も思い入れが強い。今日のような場合も、教育委員会だけではなく、本来ならここに市長も呼んで、市全体として少子化にどう取り組むのかを聞きたい。
- ⑨ 適正規模適正配置については、総合計画の中では、大綱の中のごく小さな目標でしかない。本来この種の案件については、企画調整的な面が大きいのではないかと思う。教育委員会はその実務を担い、市全体として取り組むのであれば、他の部局がけん引をしなければ筋が通らないと思う。

第7回地域説明会（第二中学校区）

- ・ 日 時 平成29年10月6日（金） 19：00～
- ・ 場 所 喜多方市立第一小学校会議室
- ・ 参加者 22名
- ・ 主な意見

(1) 何らかの対策が必要

- ① 子どもが歩いて通える場所に小学校があるのが普通と考えるが、通学の利便性（スクールバス等）や、他地区への通学ということについても統合後の方向性を示すべきである。
- ② 地域から学校が無くなるということは、その地域にとって大きな痛手となってしまう。学校が無くなると、その地域にとってますます過疎化が進むと思う。少子化対策、人口増への対策を、まず市政としてやるべき。

(2) 現状維持

- ① この資料を見ると、生徒数が多くなれば、たくましく育つ、切磋琢磨する等々となっているが、少人数でもそれはできると思う。
- ② 大規模校ではいじめなどの発見が遅くなったり、事故やその対処などに後れをとったりす

ると思う。逆に、小規模校ではいじめは少なくなると思う。

- ③ 学級の人数を少なくすることは、法的にできるのか知りたい。標準規模校に無理やり編成することですべて解決するとは思わない。

(3) 要望、その他

- ① 学区外通学については、きまりを知りたい。
- ② 今回のような資料に、少子化対策の検討などの資料も入れていただきたい。子どもを増やすことを考えるのが、まずは大切だと考える。

10 アンケート調査

説明会の開催にあわせて、参加した保護者や地域住民等に対し、アンケート用紙により調査を実施するとともに、平成29年10月末日を期限とし、市役所本庁舎、各総合支所庁舎、各公民館等にアンケート用紙を配置し、調査を行った。

アンケート調査の結果については、別に整理する。